

つくば市 令和7年度 主な取組

令和7年度当初予算は、「**価値ある未来へつなぐ予算**」をテーマに掲げました。居場所やたまり場など、身近な地域で居心地よく過ごせる場を市内全域に増やすとともに、つくばの未来を見据え、市民一人一人が希望をもって安心して「つくばに住んでよかった」「これからも住み続けたい」と心から思えるよう、まちの価値を高めていきます。

価値ある**未来**へつなぐ予算

拡充 **アフタースクールモデル事業** 4,359万円(+2,775万円)

沼崎小学校をモデル校に設定し、保護者の就労状況等にかかわらず、希望する全ての児童を対象に、放課後に安全・安心な居場所と多様な体験・活動の機会を提供するモデル事業をスタートします。



新規 **若者のためのユースクリニック(からだ・こころ・性の相談)の設置** 118万円

保健センターにおいて中高生から20代までの若者が、からだやこころ、性に関する悩みを保健師や助産師にオンラインや電話、対面で相談できる場所を設置します。



継続 **児童発達支援センター整備事業** 2億4,380万円

子どもの発達に関する支援を切れ目なく行うため、児童発達支援センターの令和9年度開設に向けて春日庁舎の改修工事を進めます。



継続 **萁崎老人福祉センター入浴施設等リニューアル事業** 1億8,046万円

高齢者の健康増進、生きがいづくりを支援するため、地域のたまり場となる入浴施設等の令和8年度リニューアルに向けて改修工事を進めます。



継続 **(仮称)つくば市萁崎給食レストラン整備事業** 1,332万円

栄養バランスに配慮したおいしい給食を提供するとともに、地場産物の活用拡大や地域交流の場の創出を図るため、貯蔵庫や給食レストラン等を持つ複合施設の基本・実施設計を行います。



継続 **芸術文化創造拠点整備事業** 3億9,636万円

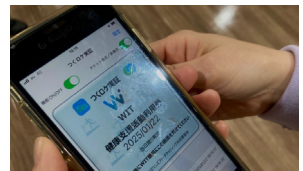
芸術文化を身近に感じ、創作や発表ができる場を整備するため、芸術文化創造拠点の令和8年度開設に向けて旧田水山小学校の改修工事を進めます。



拡充 **地域共創・MaaS実証事業(ハンズフリーチケットング)**

2,500万円(+270万円)

公共交通機関の利用時に、ICカードをタッチすることなくバス運賃等の事後決済を可能にするシステムの実証実験を行います。



令和7年度当初予算総額
1,933億7,417万円

一般会計	1,273億2,500万円
特別会計 (国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険事業 他)	369億5,761万円
水道事業会計	115億2,851万円
下水道事業会計	175億6,304万円

つくば市
市長公室



※予算額は、千円以下を四捨五入した表記となっています。

1 徹底した行政改革



- 継続** コーチングプロジェクトの継続 900万円
自ら考え行動できる主体的な職員を育成し、心理的安全性の高い組織で事業を遂行するため、コーチングの手法を活用します。
- 継続** 住民の声見える化(生成AI)活用事業 1,386万円
様々な市民の声を集約し市政に反映するため、生成AIを活用して意見の整理や課題の分析をする仕組みを整備します。
- 拡充** インターネット投票事業 3,189万円(+940万円)
公職選挙でのインターネット投票導入に向けて、より本番に近い環境で模擬投票を実施し、市民が体験する機会を提供します。
- 継続** パーソナルデータ連携基盤整備事業 4,194万円
先端医療・介護サービス実現のため、医療・介護・福祉・救急等のパーソナルデータを連携する仕組みを検討します。
- 継続** 情報格差解消促進事業 2,233万円
情報格差を解消するため、スマホを保有していない又は十分に使いこなせていない高齢者向けにスマホ教室を実施します。
- 拡充** こどもMaaS^{マース}実証実験事業 1,862万円(+1,362万円)
センター地区において、子ども等を対象にした低速自動運転モビリティによる移動支援の実証実験を引き続き実施します。
- 新規** 庁内外の公開型GIS構築事業 3,630万円
誰もが利用可能な地図システムを構築し、行政が保有する都市計画や防災等の地理空間情報を可視化して情報発信します。
- 新規** 庁内ネットワーク基盤整備事業 8億8,225万円
職員の業務効率化及び市民サービスの向上を図るため、どこでも安全に利用できる庁内ネットワーク基盤を整備します。
- 新規** 行政窓口のデジタル化 3,924万円
市民の利便性向上と待ち時間削減を図るため、書かない、待たない、回らないワンストップ窓口を導入します。
- 新規** 税務事務アウトソーシング事業 5,438万円
定型業務を外部委託し、法令や業務の性質上職員にしかできない業務に注力し、更なる市民サービスの向上を図ります。
- 新規** 介護認定審査会ペーパーレス会議システムの導入 2,133万円
認定申請から結果通知までの期間を短縮するため、介護認定審査会ペーパーレス会議システムを導入します。

2 安心の子育て・教育



- 新規** 多子世帯利用者負担額軽減対象の拡充(保育料) (軽減の影響による歳入△5,343万円)
認可保育所等に入所する0～2歳児クラスの児童のうち、第2子の保育料半額軽減の所得制限を市独自で撤廃します。
- 新規** 保育所入所AI選考システムの導入 1,258万円
入所選考事務の精度向上や効率化のため、指数順位・施設希望順位等の基準に基づき、AIで選考するシステムを導入します。
- 拡充** 保育士等処遇改善助成金の継続 3億8,376万円(+2,952万円)
保育士等を確保し離職を防止することで安定的な保育を行うため、民間保育所等の保育士等へ市独自に月3万円を助成します。
- 拡充** 子育て支援拠点事業の拡充 9,324万円(+826万円)
子育ての不安感等の緩和や、子どもの健やかな育ちを支援するため、子育て支援拠点の数を増やします。
- 拡充** 子育て親子のつどいの広場日曜日開催・児童館土日開放事業の継続 2,097万円(+749万円)
子育て親子の居場所としてつどいの広場を、小中高生や子育て親子等の遊びや学習の場として一部の児童館を休日開放します。
- 継続** インクルーシブ公園に向けた筑波北部公園再整備事業 1,238万円
障害の有無にかかわらず誰もが快適に過ごせるインクルーシブ公園に再整備するため、基本・実施設計を行います。
- 新規** 公立幼稚園での平日預かり保育の試行的実施 429万円
働く親の選択肢を広げ、子育てと子どもの心身の健全な発達を支援するため、一部の公立幼稚園で平日預かり保育を実施します。
- 拡充** 教育大綱推進事業 9,637万円(+3,960万円)
教育大綱の理念実現のため、広報・啓発活動や、教育現場の実態把握や施策立案、学級運営や教科指導の支援を行います。
- 拡充** 不登校児童生徒支援の継続 5億1,647万円(+2,243万円)
不登校児童生徒の社会的自立を支援するため、校内フリースクールの運営や教育支援センターの拡充等を行います。
- 新規** 谷田部小学校建設事業(周辺公共施設との複合化の検討) 1,681万円
地域に開かれた新しい学校のあり方のモデル事業として、庁舎跡地の利活用や周辺公共施設との複合化の検討を進めます。

新規 地域と学校の連携事業 2,700万円

地域全体で子どもの学びや成長を支えるため、コミュニティ・スクールが行う様々な活動を支援します。

継続 高校生遠距離通学支援事業 1億4,617万円

適性や興味関心にあった進路の選択肢を広げるため、遠距離通学する高校生へ市独自の支援金を条件緩和して交付します。

3 頼れる福祉



新規 医療的ケア児等の短期入所受入事業補助金の創設 291万円

医療的ケア児等を介護する家族の負担軽減を図るため、対象者を受け入れた短期入所事業所への補助事業を開始します。

拡充 障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策事業の推進 1,591万円(+776万円)

障害者の社会参加を促進するため、手話通訳者等の派遣範囲の拡大や意思疎通促進のための機器を導入します。

新規 母子・父子自立支援プログラム策定事業 358万円

経済的に困難な状況等にあるひとり親の自立促進を図るため、個々の状況に応じた継続的な自立・就業支援を実施します。

拡充 居場所支援事業(青い羽根のいえ)の拡充 4,563万円(+1,697万円)

複合的な困難を抱える子どもを支援するため、孤立を防止し生活習慣の向上を図る「青い羽根のいえ」の拠点を増やします。

拡充 つくばこどもの青い羽根学習会の拡充 4,566万円(+669万円)

将来の貧困の連鎖を断ち切り、子どもの学習習慣や生きる力を育むため、学習支援や安心できる居場所の提供等を行います。

新規 子どもの新たな体験活動事業 296万円

様々な理由により不足する文化・社会体験等の機会を提供することで、子どもが将来に希望を抱けるよう支援します。

拡充 休日夜間小児デジタル急患センター事業 1,452万円(+847万円)

休日・夜間の小児の体調不良時の対応として、アプリを活用した医師による医療相談とオンライン診療を実施します。

拡充 がん患者支援つどいの場運営補助金の拡充 150万円(+100万円)

がんや難病等の患者及びその家族等を支援する団体に対する活動費補助金を拡充します。

新規 保健センター待合・相談スペースの充実 393万円

利用者が快適に過ごし気軽に相談できる環境を整備するため、待合スペースや相談ブースの設備を充実させます。

新規 認知症高齢者等個人賠償責任保険事業 43万円

認知症高齢者等が安心して暮らせるように、該当者を被保険者とする個人賠償責任保険に市が契約者として加入します。

新規 高齢者等ごみ出し困難者への支援事業 1,132万円

高齢や障害等により家族等の協力も難しく集積所までごみ出しができない方に対し、戸別収集と安否確認を行います。

4 便利なインフラ



新規 自動運転バス実証事業 1億4,767万円

安全で効率的な交通システムの構築に向けた検証を行うため、自動運転バスの実証実験を実施します。

継続 渋滞対策検討事業 998万円

市内の渋滞を解消するため、渋滞発生箇所の交通量等を調査し、課題の解決に向けた方策等の検討を進めます。

拡充 都市計画道路整備推進事業 8億8,443万円(+6,742万円)

都市の基盤を支える道路網を構築し円滑な交通を確保するため、台町萱丸線等の都市計画道路の整備を進めます。

継続 地域連携公共ライドシェア事業 8,640万円

公共交通が抱えるドライバー不足等の交通課題を解決するため、関係自治体と連携し、公共ライドシェア事業を行います。

新規 ユニバーサルデザインタクシー購入補助金の創設 100万円

高齢者等が快適に使えるタクシー利用環境を創出するため、ユニバーサルデザインタクシー購入補助金を創設します。

新規 市内バス・タクシー運転士採用支援金の創設 600万円

市内の路線バスやタクシーの運転士を確保するため、採用等にかかる経費の一部を支援します。

継続 シェアサイクル「つくチャリ」事業 1,623万円

健康、快活につながる自転車での移動を促すため、サイクルポートの増設など、つくチャリの利便性向上を図ります。

拡充 自転車用ヘルメット購入補助金の拡充 150万円(+100万円)

自転車乗車時のヘルメット着用を促し、事故による被害の軽減を図るため、ヘルメット購入補助の年齢制限を撤廃します。

拡充 緑の基本計画改定事業 880万円(+53万円)

街路樹、公園、緑地など持続可能な都市の発展のため、グリーンインフラを推進する緑の基本計画の改定を進めます。

5 活気ある地域



継続 労働者協同組合設立及び運営支援 278万円

地域課題を解決するため、新しい働き方である「労働者協同組合」の設立・運営を支援し、市民の主体的な活動を推進します。

継続 男性育児休業取得促進事業 1,000万円

男女ともに活躍できる環境を整えるため、市内中小企業等における男性労働者の育児休業取得に対し奨励金を交付します。

新規 地産地消の推進 840万円

つくばの魅力ある農産物の地産地消を促進するため、情報発信ウェブサイトの再構築や、直売所のPR等を行います。

拡充 スマート農業推進事業補助金の拡充 1,000万円(+500万円)

作業省力化によるコスト削減や収益性の向上等、農業者の経営基盤強化のため、スマート農業技術の導入費を補助します。

新規 有機農業の推進 3,188万円

環境に配慮した農業の推進のため、有機農業に資する機械取得等への補助や、学校給食での有機米提供等を行います。

拡充 森林バンク制度の推進 1,275万円(+573万円)

森林を適切に管理し都市の中での自然環境を保全するため、森林の所有者と活用希望者をマッチングする制度を開始します。

拡充 産業用地創設事業 8,454万円(+5,925万円)

市内経済の活性化のため、不足する産業用地の確保や、新たな産業集積拠点を形成するための誘致活動・調査を行います。

継続 筑波ふれあいの里キャンプ場改修事業 2,512万円

筑波ふれあいの里をより魅力あるアウトドア施設とするため、キッズエリア・デイキャンプエリア等の整備を進めます。

拡充 牛久沼自然共生観光創出事業 99万円(+26万円)

牛久沼周辺の豊かな自然を生かし、持続可能な地域活性化を図るため、水辺の体験型観光プログラムを実施します。

新規 区域指定追加策定事業 1,129万円

TX沿線土地地区画整理事業地である葛城地区周辺における住宅等の建築需要に応えるため、区域指定の追加を行います。

拡充 地域活性化人材(クラフトライファー)育成事業の拡充 1,000万円(+564万円)

周辺市街地の活性化を加速するため、新たな仕事や活動を生み出す人材を支援する伴走型育成事業を実施します。

拡充 洞峰公園協議会の運営 240万円(+40万円)

市民とともに新たな公園経営・管理運営のあり方を検討するため、有識者等による協議会を設立・運営します。

継続 つくばマラソンコースのリニューアル 2,800万円

市民により愛されるシティマラソンとするため、マラソンコースをつくばのまちなかを走るルートにリニューアルします。

継続 市立体育館へのエアコン設置 352万円

酷暑による熱中症対策やスポーツ環境の充実のため、幅広い世代の市民が利用する市立体育館へ順次エアコンを整備します。

継続 (仮称)つくば市陸上競技場整備事業 4億9,209万円

誰もが利用でき、スポーツの拠点となる陸上競技場を整備するため、基本・実施設計や旧上郷高校校舎の解体等を行います。

6 誇れるまち



新規 庁舎の温室効果ガス排出量削減事業 1億4,055万円

行政運営における温室効果ガス排出量を削減するため、電気自動車充電設備の設置や太陽光発電設備の導入を進めます。

継続 気候市民会議提言ロードマップの推進及び環境基本計画等の改定 3,500万円

気候市民会議からの提言への対応を進めつつ、環境基本計画と地球温暖化対策実行計画区域施策編の改定を進めます。

継続 生物多様性つくば戦略推進事業 295万円

豊かな自然環境・生物多様性を未来につなぐため、生物多様性つくば戦略の運営体制の構築や生きものモニタリング等を行います。

拡充 脱炭素先行地域づくり事業(環境省選定事業) 16億948万円(+14億5,410万円)

市内全域での脱炭素化の実現に向け、つくば駅周辺をモデル地区として、2030年をゴールとする先進的な事業を進めます。

新規 インパクト・スタートアップ社会実装支援事業 300万円

社会課題の解決と事業の成長性を目指すスタートアップとともに、新しい仕組みをつくる社会実装事業を実施します。

新規 道の駅基本構想策定事業 4,655万円

つくばの魅力をPRし、地産地消を推進する観光・市民生活拠点として道の駅を整備するため、基本構想を策定します。

拡充 中央図書館リノベーション事業 1億3,383万円(+1億2,772万円)

市民ニーズの高い滞在型図書館を実現するため、中庭にウッドデッキやベンチを整備し、自動ドア出入口を設置します。